

令和4年8月28日
今週のベストショット



青松園B 和白新町パイレーツ 対 雁の巣ライナーズ
俊足を活かしてホームを陥れる雁の巣ライナーズ渡辺 康太選手。
写真： 三苦フレンズ 肥喜里 一征

奈多グラウンド 藤田選手の満塁弾で2桁得点のウインズが勝利！！

新町ウインズ (2勝6敗) 5 0 2 2 1 0 0 1 0 藤田○-今林

ブルーマーリンズ (1勝7敗) 0 0 0 0 3 0 2 5 中城●-横山

HR：藤田 (新町ウ) 3BH：柴田 (新町ウ) 井上 (ブルー) 2BH：末松 (ブルー)

盗塁：児玉2、原 (ブルー)

両チーム共に今シーズンはここまで勝ち点3とお互いに2勝目を勝ち取りたい試合。新町ウインズは初回からビッグイニングとなった。ブルーマーリンズ中城投手が制球に苦しみ三連続四球の後、五番の長岡選手がきっちり中前に適時打を打ち先制すると、尚も満塁のチャンスに六番藤田選手はライトに柵越えの満塁弾を打ち一気に5点を奪った。三回には四番の柴田選手の二塁打と藤田選手のこの試合5打点目の安打で2点を奪い、四回には相手の失策や長岡選手の中前打で更に2点を加えるなど五回までに10得点を奪った。対するブルーマーリンズは藤田投手を相手に四回まで1安打に抑え込まれたが、点を奪えなければコールド試合となってしまいう五回裏にねばりを見せた。先頭の前選手がこの試合ブルーマーリンズ初のクリーンヒットを打ち、代打の小柳選手が三塁線を破る安打でチャンスを広げると、一

番児玉選手が得意の足を活かした内野安打で 1 点をもぎ取り記録を免れた。児玉選手が盗塁を決めたあと藤田投手に疲れが見え始めバッテリーエラー等でこの回更に 2 点を追加し点差を縮めた。最終回にも四球や井上選手の三塁打で 2 点を返すなど最後まで食らいついたが序盤の大量失点がひびき、10-5 でウインズが勝利した。(写真、記事：奈多フェニックス 實延 新伍)



ブルーマーリンズ中城投手。



二回表右前に適時打のウインズ藤田選手。



体制を崩しながらも安打を放つウインズ長岡選手。



三回表、左中間へ三塁打を放つウインズ四番の柴田選手。



一日に二回当たる人。



チーム初のクリーンヒットを放つブルーマーリンズ原選手。



盗塁を成功させるマーリンズ児玉選手。



七回裏に左中間へタイムリーを放つマーリンズ井上選手。

青松園B 取られても取り返す試合運びで確実に勝利を掴んだライナーズ陣！！

和白新町パイレーツ（2勝5敗） 0 1 0 2 0 1 4 岩吉●—大濱

雁の巣ライナーズ（4勝3敗1分）2 0 3 0 2 × 7 柴田○—明瀬

HR：岩吉（新町パ）3BH：今泉（新町パ）柴田（雁の巣）盗塁：久保田（雁の巣）

試合が動いたのは一回裏、雁の巣ライナーズの攻撃。2番正内選手がセンターへのヒットで出塁すると、三番久保田選手のサードへの打球でミスを誘い、一死一三塁のチャンス。そこで一塁ランナーがスチールを試みると、キャッチャーからの送球が逸れ、一気に二人がホームインして2点を先制。一方、失策で得点を計上してしまった新町パイレーツは早めに同点に追いつきたいところ。二回表の攻撃で自ら六番の岩吉選手がレフトへのソロホームランを放ち1点差に詰め寄る。しかし、ライナーズも追加得点を狙う。三回裏、三番久保田選手がレフト前ヒットで出塁。五番中内選手がセンター前ヒットで続き、六番渡辺選手の内野安打の間に二塁走者がホームイン。続く七番柴田選手も二死一三塁のチャンスでレフトを破る2点タイムリー3ベースを放ち、この回3点を追加、5-1と突き放した。ところがパイレーツも諦めない。四回表、この回先頭の今村選手がセンター前へはじき返し出塁すると後続の四球とWPで無死二三塁のチャンス。ここで今泉選手の犠牲フライと白岩選手の好走塁などで2点を返し、ここでまた3-5の2点差まで引き戻した。だが、ライナーズはここでも追加得点を狙っていく。五回裏に4者連続安打を放ち2点を追加、更に二死満塁の場面で正内選手がセンターへの大きな打球を放つ。抜ければ間違いなく満塁ホームラン。だが、この大きな打球にパイレーツ岡山選手が間一髪のところでは捕球するというビックプレーが飛び出した。このプレーに味方も相手も含め歓喜に沸き、ベンチ内も大きな盛り上がりを見せた。その勢いのまま、六回表には先頭の今泉選手がレフト線への3ベースヒットを放つが、後続が続かずこの回に1点を返すのが精一杯となりゲームセット。振り返ると、ライナーズは要所所で確実に得点を上げ、取られても取り返す試合運びができていた。投げては柴田投手の完投勝利と投打が噛み合った試合だった。（記事・写真 三苦フレンズ 肥喜里 一征）



完投勝利の雁の巣ライナーズ柴田投手。



和白新町パイレーツ先発の岩吉投手。



二回表、ソロホームランを放った岩吉選手。



三回表、内野安打と打点を奪う渡辺選手。



三回裏、2点タイムリー3ベースを放った柴田選手。



四回裏、軽快な守備を続ける白岩選手



四回裏、必死な守備を見せている朝野選手。



五回表、好守備の勢いそのままヒットを放った浅野選手。



五回裏、レフトへ鋭い打球を放つ中内選手。



五回裏、センター前ヒットから一気にホームイン渡辺選手。



抜ければ満塁HR、大失点を阻止した岡山選手。



六回表、意地のレフト線3ベースヒットを放った今泉選手。

青松園A 三苦ホーネッツ快勝。

三苦ホーネッツ (7勝1分) 0 3 2 1 5 1 1 平川○、矢野ー広木

奈多サンデーズ (3勝3敗1分) 0 0 0 2 0 2 土田●ー柴田

HR: 堺 (三苦ホ) 柴田 (奈多サ) 2BH: 広木、山崎、三浦、堺、川原 2 (三苦ホ)

盗塁: 稲葉、川原 (三苦ホ) 八島 (奈多サ)

走攻守全てを兼ね備えた三苦ホーネッツの先頭・広木選手のレフトオーバー二塁打でスタートしたこの試合だったが、奈多サンデーズ先発の土田投手がここは落ち着いて後続を上手く打ちとり無失点。ピンチを抑えたサンデーズだが、ホーネッツ平川投手の前に三者凡退。続く二回表ホーネッツ五番稲葉選手がヒットで出ると、二死から八番川原選手のタイムリー二塁打で先制すると、WPと二番山崎選手のライトへの二塁打で3得点。反撃したいサンデーズだが、続く二・三回も平川投手に抑えられる。三回、四回と追加点を奪うホーネッツ。何とかしたいサンデーズは6点ビハインドの四回裏、四番八島選手がレフトへのヒットで出塁。ここで五番近藤選手がセンター頭上を襲う大飛球を放つ。しかしホーネッツセンター稲葉選手が背走の末、向こう向きでナイスキャッチ。二死から八島選手の虚を突いた盗塁から六番柴田選手がドンピシャのレフトオーバー2ランHRで反撃！しかし代わったホーネッツ二番手矢野投手が1球で流れを止める。五回表、元ホーネッツ井手さんが監督を務める少年ソフトの奈多クラブの子供たちが見つめる中、ホーネッツは下位から打線が繋がりを、四番堺選手のHRなどで5点を挙げると、最終五回裏、矢野投手はヒットを打たれるも危なげなく抑えて11-2で快勝。ホーネッツはチーム総合力が高く、下位打線からでもしっかり点を取ってくる打線の繋がりはさすが！サンデーズもいい当たりはあったもののホーネッツの高い守備力にあい、結果的に大差の試合となった。

(記事・写真: 三苦三球会 濱口 裕也)



三苦ホーネッツ先発の平川投手。



三回表、追加点のレフト前ホーネットス只松選手。



四回裏、意地の完封阻止！サンデーズ柴田選手の2ランHR。



五回表、ホーネットス四番塚選手のダメ押しHR。



打たれはしたものの粘りを見せたサンデーズ土田投手。